

モニタリング状況整理 (富益工区)

令和 8 年 8 月 5 日

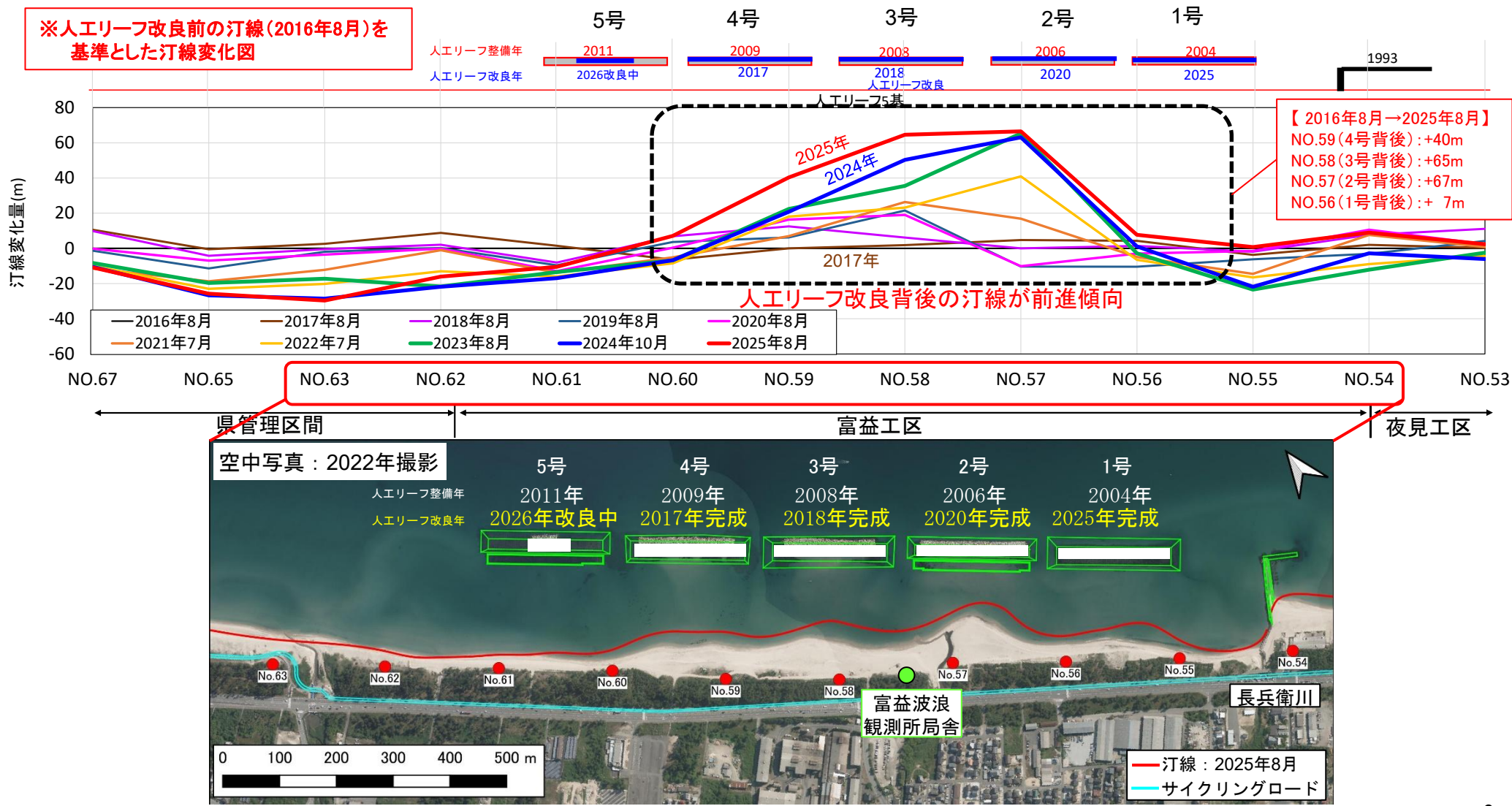
中国地方整備局 日野川河川事務所

- 1. 富益工区の地形変化..... 2
- 2. 富益工区の今後の事業予定..... 7

1. 富益工区の地形変化【汀線変化】

■2017年（H29）に4号、2018年（H30）に3号、2020年（R2）に2号、2025年（R7）に1号人工リーフ改良が完了し、**最新測量成果**（2025年（R7）8月：赤線）では、4号、3号、2号、1号人工リーフ改良背後の汀線が前進傾向にある。

■5号人工リーフより下手側（西側）の汀線は後退傾向にある。



富益工区施設改良状況(空中写真:2022年(R4)5月 日野川河川事務所撮影)

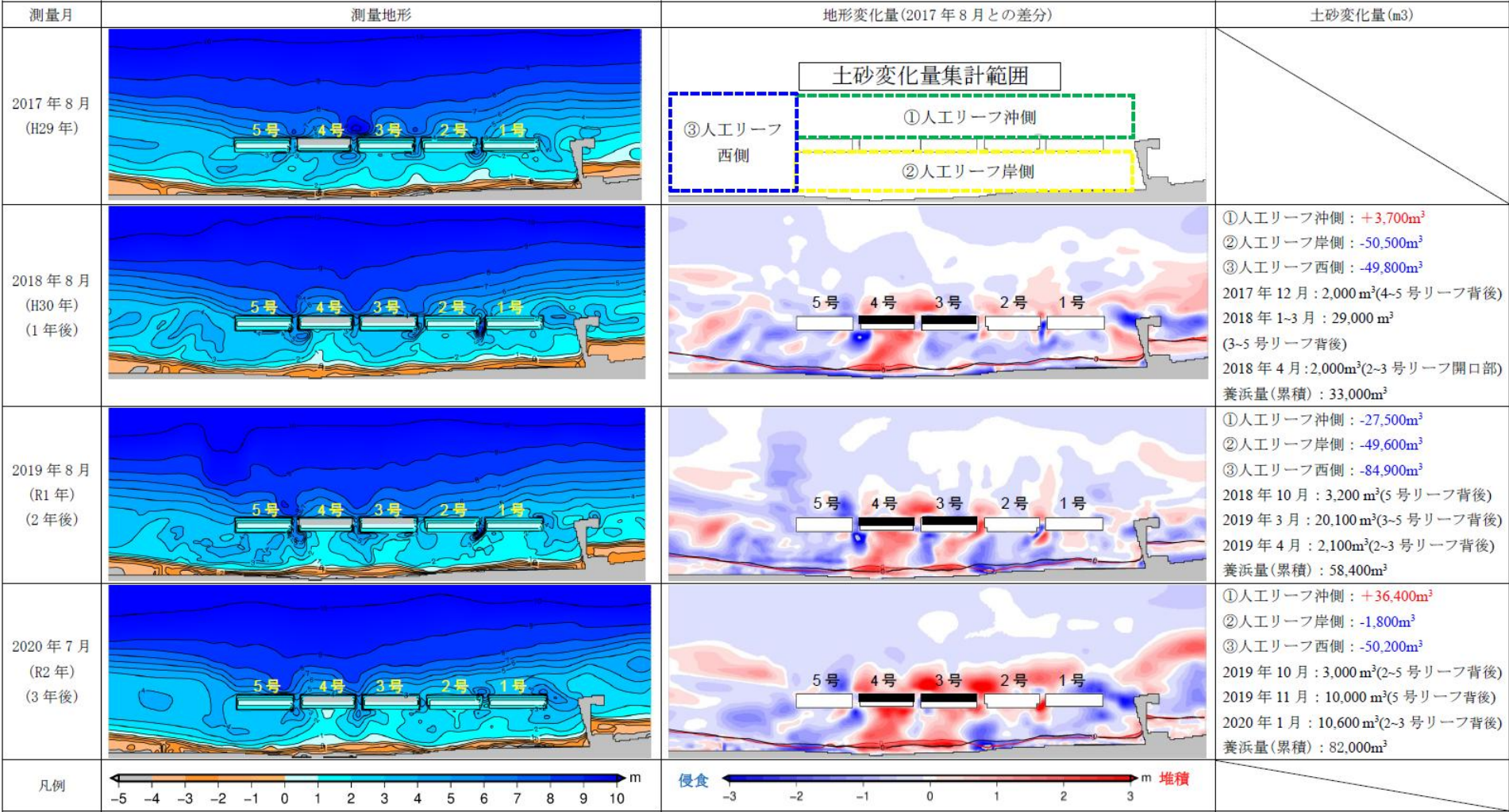
1. 富益工区の地形変化【空中写真】

- 2017年（H29）に4号、2018年（H30）に3号、2020年（R2）に2号、2025年（R7）に1号人工リーフ改良を実施。2021年（R3）より5号を一部改良している。
- 2. 3. 4号人工リーフ改良後（2021年（R3））と現在（2026年（R8））の空中写真を比べて、改良済人工リーフ背後では、トンボロ地形が形成され、汀線が前進していることが確認できる。また、改良直後の1号人工リーフ周辺においても、汀線が前進している。



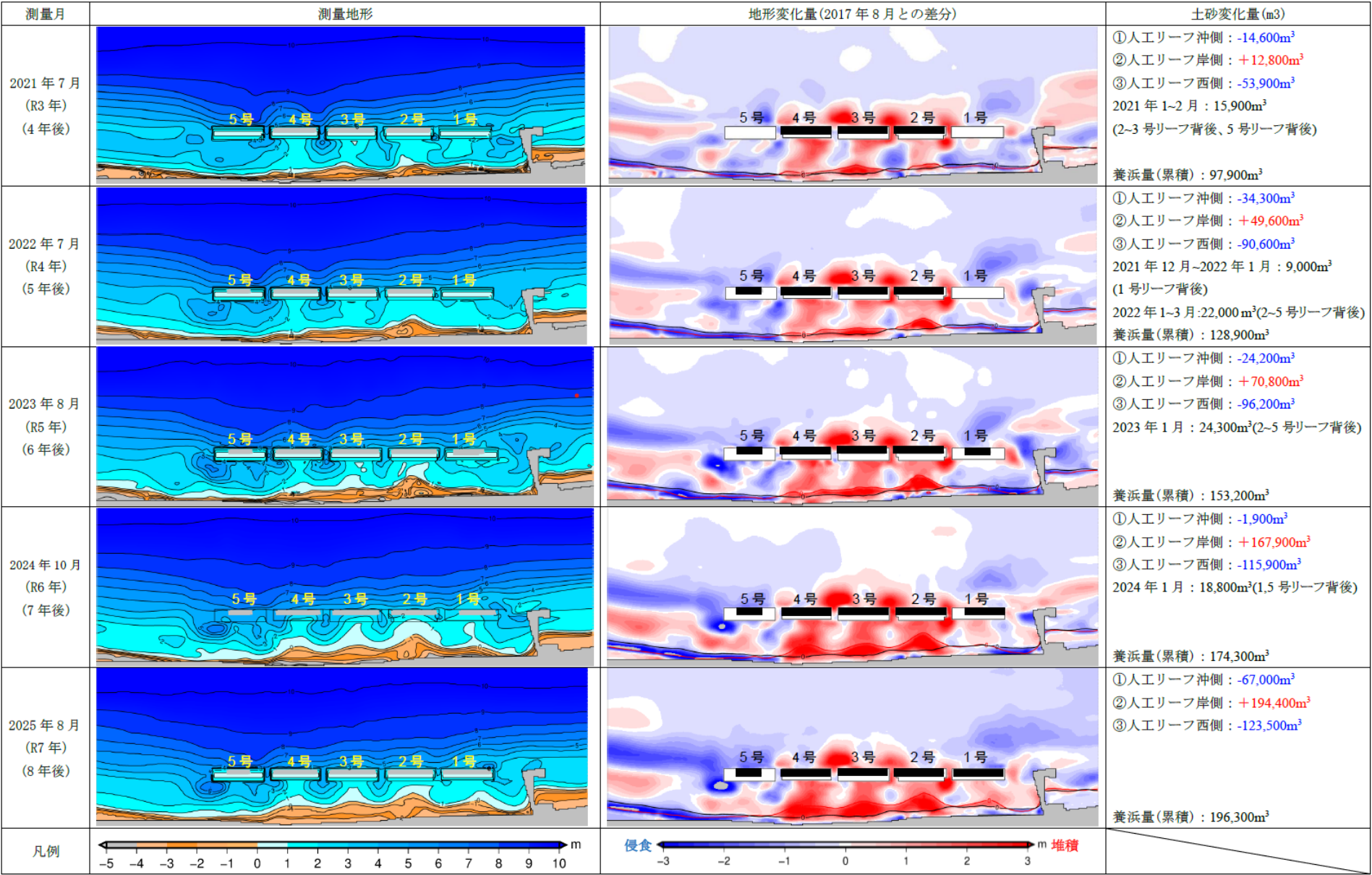
1. 富益工区の地形変化【人工リーフ改良中の地盤高変化①】

- ここでは、人工リーフ改良開始の2017年（H29）8月から最新測量成果の2025年（R7）8月までの地盤高変化図を示す。
- 人工リーフ改良を実施すると、改良した人工リーフ岸側や沖側領域の地盤高が上昇している。
- 人工リーフ改良の影響により、人工リーフ西側の領域の地盤高が低下している。
- 最新測量結果（2025年（R7）8月）では、人工リーフ改良が完成した1号人工リーフ岸側の地盤高が上昇している。なお、長兵衛川の閉塞問題も悪化していないことを確認している。
- 人工リーフ改良中の5号人工リーフ岸側領域の地盤高が上昇している。



富益工区の人エリーフ改良中の地形変化（人工リーフ改良開始:2017年(H29)8月 測量基準）

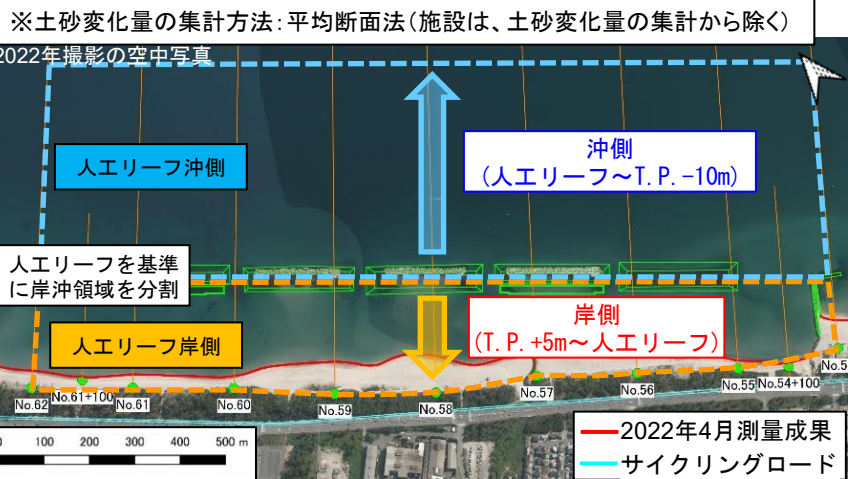
1. 富益工区の地形変化【人工リーフ改良中の地盤高変化②】



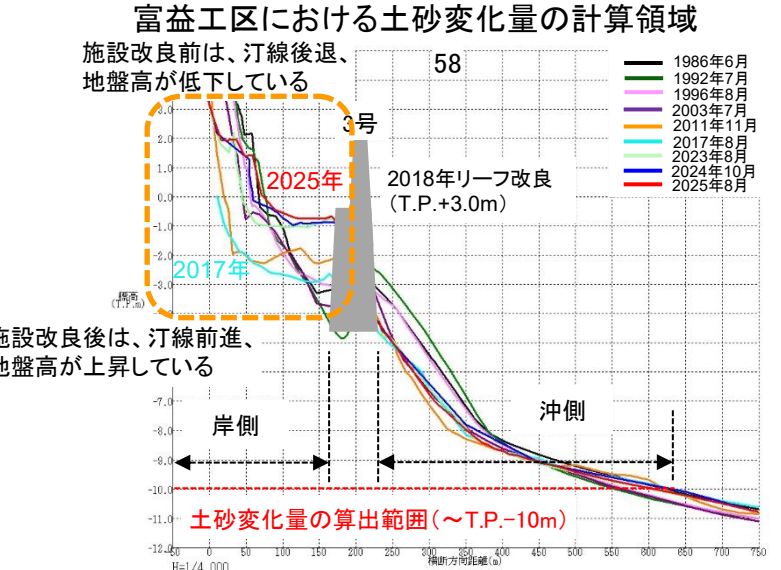
富益工区の人エリーフ改良中の地形変化 (人工リーフ改良開始:2017年(H29)8月 測量基準)

1. 富益工区の地形変化【整備前からの土砂変化量】

■富益工区は1996年（H8）以降、人工リーフ整備+年間約2～3万m³のサンドリサイクルを実施していたが、依然として人工リーフ岸側では侵食傾向が続いていた。2017年（H29）から人工リーフ改良を実施し、2号完成後の2020年（R2）から人工リーフ岸側で堆積傾向となっている。

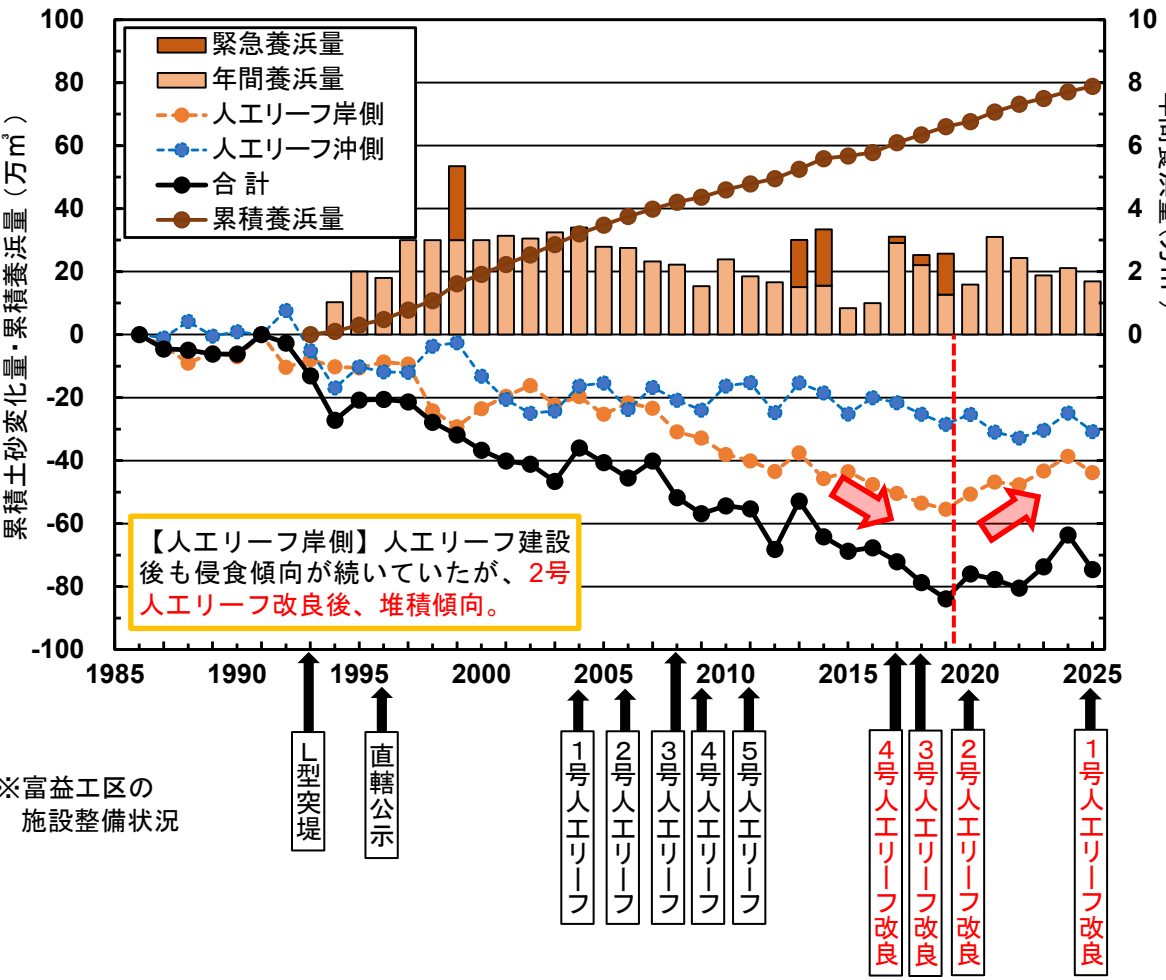


※緊急養浜は、台風等の高波浪により一時的に浜崖形成等、大規模な侵食が生じた場合に実施
※サンドリサイクルは、基本的に1～3月に実施。



富益工区人工リーフ改良箇所の断面地形変化

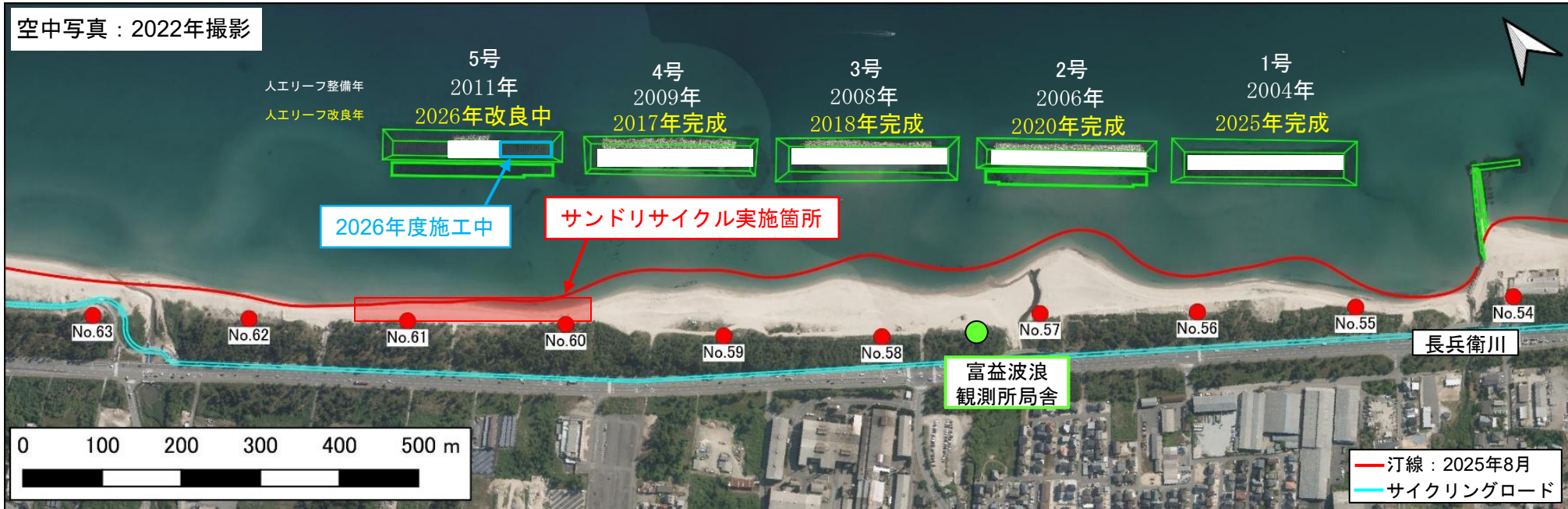
※上手側（両三柳工区）の直轄工事が概ね完了した1986年を基準とした土砂変化量



富益工区の土砂変化量

2. 富益工区の今後の事業予定

- 2026 (R8) 年度中に5号人工リーフの一部を施工中である。
- あわせて、5号人工リーフ岸側にサンドリサイクルを実施予定である。
- 引き続き富益工区のモニタリングを行い、砂浜の変化状況を確認する。



富益工区施設改良状況と今後の事業予定(空中写真:2022年(R4)5月 日野川河川事務所撮影)

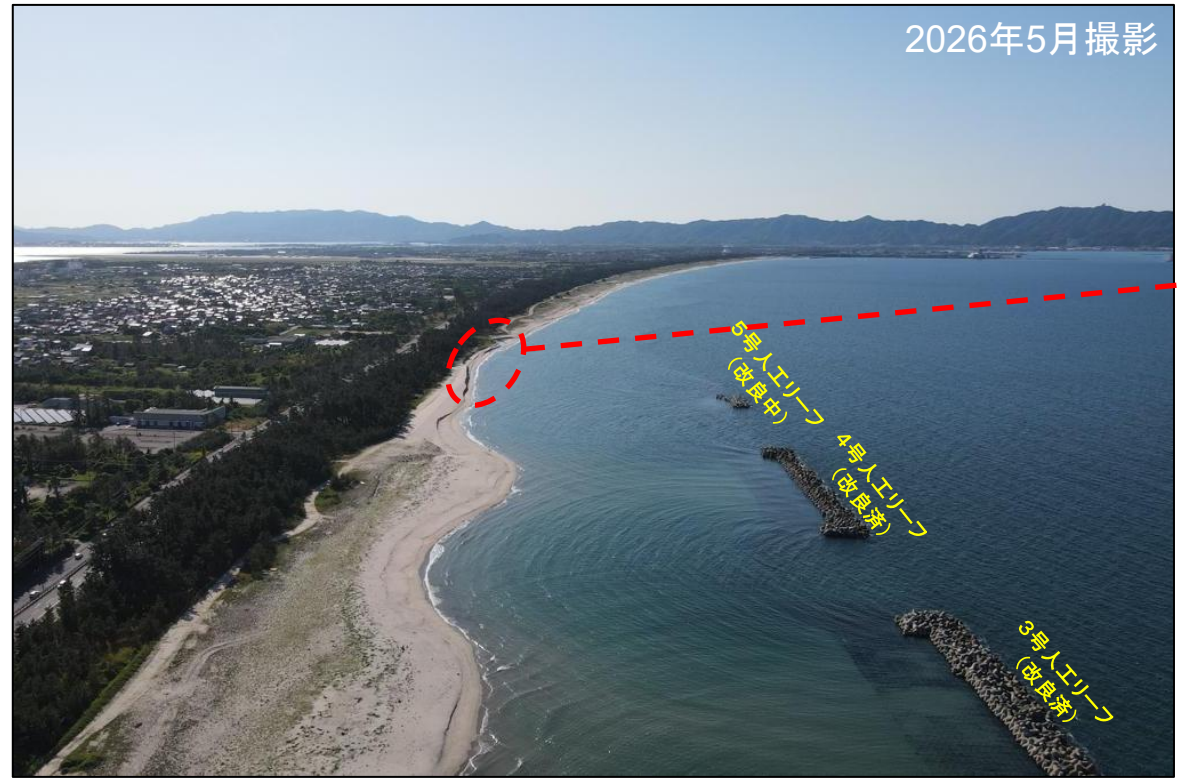
【参考】サンドリサイクル実績及び5号人工リーフ周辺の状況

- 富益工区では、年間2～3万m³のサンドリサイクルが実施されている。なお、近年は、1号人工リーフ付近にも養浜を実施している。
- 富益工区5号人工リーフ西側は、高波浪時に侵食され、汀線後退や浜崖が発生している。



サンドパイパス
2021年度:9,000m³
サンドリサイクル
2023年度:9,500m³
2024年度:14,600m³

←富益工区施設改良状況と最新測量成果(空中写真:2022年(R4)5月 日野川河川事務所撮影)



富益工区5号人工リーフ周辺の空中写真

富益5号人工リーフ周辺の砂浜状況写真 8